

科目名称	公衆衛生	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	15
担当教員	山本 しげ子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

健康の維持・増進のために、個人・集団・地域へ働きかける保健活動について理解する。

【2】 学習目標

1. 公衆衛生の概念を学び、地域における保健医療福祉活動について理解する。
2. 国民の生活環境を学び、より良い状態で健康を維持するために望ましい制度や組織活動を理解することで、医療職の役割を理解する。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	公衆衛生概論	講義
2	疫学と統計	講義
3	食品衛生	講義
4	環境保健	講義
5	廃棄物処理の事業所を見学	見学
6	産業保健	講義
7	感染症対策とまとめ	講義
8	筆記試験	

【5】 評価方法

科目評価は、毎回の講義後の学びのまとめと筆記試験で総合的に評価する。

【6】 教科書

神馬征峰:系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生(第14版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ